

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所 News Letter

2026年3月号
No.29

[発行]

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

(tel) 093-964-4302

(fax) 093-964-4300

(mail)chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

洋上風力関連の研究教育活動の取り組みについて-----

北九州市は、2011年度から、モノづくり、港湾、環境という市の特徴を背景に、洋上風力産業に必要なサービスを提供する総合拠点の形成を目指す「グリーンエネルギーポートひびき」事業を展開しています。その事業の一つとして、2016年度に響灘の港湾エリアを対象とした洋上ウインドファーム案件の公募、選定が行われ、2026年3月以降に運用を開始する予定です。洋上風力発電事業は企画、調査、建設、運用、撤去など様々な段階があり、20年から30年以上にわたる長期の事業になります。洋上風力発電事業が成立するためには様々な知見、若い世代の人材が必要なため、この分野に関心を持ってもらい、従事する人を増やしていく必要があります。本学は北九州市と連携し、2022年度から毎年、全国の大学生、大学院生を対象に、「北九州市洋上風力キャンプ×SDGs」（写真参照）を実施して、洋上風力関連について学ぶ機会を提供しています。これまで100名以上の大学生、大学院生が受講し、一部の学生は洋上風力関連の研究のために進学し、再生可能エネルギー関連企業に就職しています。2026年度も本キャンプは開催する予定で、今後もこの分野に多くの人材を輩出できるよう取り組む予定です。

一方、洋上風力関連の研究に関しては、他大学の研究者と連携し、洋上風力の社会的受容に関する研究、経済波及効果に関する共同研究に取り組んでおり、一定の研究成果を挙げています。今後は、洋上風力に関する事業性評価、政策評価、環境影響評価などをテーマにした共同研究を行い、本学が洋上風力関連の研究教育機関の拠点の一つになれるよう取り組んでいきます。

（文責：牛房）



授業紹介：「まちづくりの仕事」（地域科目）／小林敏樹（所員）-----

北九州市立大学の全学部・学群の学生を対象として開講されている教養教育科目の中に、地域社会の諸問題や魅力、施策等を理解し、知識を身につけることを目的とした「地域科目」があります。そのうち7科目は地域戦略研究所が開講しています。

今回は、私が担当している「まちづくりの仕事」について、ご紹介いたします。本科目は、まちづくりに関連する北九州および周辺地域の企業、団体、個人について、その仕事の内容、課題、展望を認識、考察し理解を深めることを狙いとしています。対象となる具体的な業界、分野は、「行政」、「観光」、「交通」、「都市計画」、「まちづくり」、「リノベーション」、「海外のまちづくり」、「伝統工芸」、「医療」などです。

まちづくりに関連した企業や団体などについて学ぶことを通して身近な地域の課題やその解決策を理解することは、まちづくりを自分事として捉えることにつながるだけでなく、働くことの価値、キャリア、幅広い視点から社会動向や自らの将来のビジョンを考える契機になっていると考えます。



SDGs 推進部門セミナー開催

『“イノベーション創発都市北九州”の可能性 ～英国先進事例と本市の萌芽的取組み～』と題したセミナーを2月16日(月)北九州市立商工貿易会館とライブ配信のハイブリッドで開催しました。イノベーションの創出が社会的に求められる中、わが国は立ち遅れているという声も聞かれます。大学や企業などの各組織がそれぞれ独自に取り組む「点」での展開から、地域全体を巻き込んだ「面」での展開を進めることで、イノベーションの創発が加速されるだけでなく、新たな都市ブランド形成へつながる可能性が英国の取組みからうかがえます。今回のセミナーを通じて、都市におけるイノベーションを加速させるためには何が必要なのかを考えることを目的としました。

行政、大学、企業、専門機関など多様なセクターから60名以上が参加いただきました。話題提供では、(株)日建設計様、URBANI(株)様による英国の地方都市におけるイノベーション創出の仕組みに関する先進事例紹介にはじまり、北九州市立大学情報イノベーション学部の設置構想や教育内容についての情報提供、北九州市未来産業推進課から本市が進める新・学術研究都市戦略など、北九州の未来を形づくる多角的な取組みが提示されました。後半のディスカッションでは、「北九州市が日本初のイノベーションシティとなるための条件」をテーマに活発な議論が行われ、産学官連携の深化や専門人材の育成などの必要性が共有されました。このように、本セミナーは、北九州のイノベーション加速に向けた有意義な知見交換の場となりました。(文責：眞鍋)



釜山大学（韓国）との国際シンポジウム

北九州市立大学地域戦略研究所と釜山大学社会科学研究院は毎年度、共同して国際シンポジウムを開催しています。第6回（2025年度）北九州市立大学・釜山大学国際シンポジウムは、2025年8月21日に釜山大学博物館にて開催されました。テーマは「地域社会における大学の役割」であり、4つの研究発表が行われました。



- ①「大規模災害発生時における大学と地域の関わり」
南博（北九州市立大学教授）
 - ②「大学等が行う国際協力活動」
吉村英俊（北九州市立大学教授）
 - ③「蔑称・嫌悪表現の心理言語的特性及び認知的影響」
梁鉉保（釜山大学校社会科学研究院）
 - ④「インドネシアのアチェ州の slow disaster とレジリエンス」
周鏡涎（釜山大学校社会科学研究院教授）
- 報告後には質疑応答も活発に行われ、充実したシンポジウムとなりました。

なお、シンポジウム前日には釜山東南地域の観光関連施設群、海雲台のヘリダンギル地区(若者に人気のあるお洒落なエリア)、造船産業集積地に誕生したカンカンイ芸術村など、釜山広域市における文化芸術等を中心としたまちづくりの現況を視察し、北九州市での文化観光推進に向けた多くのヒントもいただきました。(文責：南)

第10回研究報告会のご案内

■日時：2026年5月8日(金)9:30～12:00(予定)

■会場：AIMビル 314・315会議室(北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)

■備考：内容等、詳細は2026年4月に本研究所Webサイトに掲載予定です。ご参加をお待ちしております。